

学校評価アンケート 保護者結果

学校評価アンケート 保護者結果 A:よくあてはまる B:あてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

		質 問 項 目	A	B	C	D	後期 A+B	前期 A+B	前期 との 比較
学 校 生 活	1	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	38.0%	47.1%	11.8%	3.2%	85.0%	86.8%	-1.7%
	2	お子さんは、将来の夢や中学校卒業後の進路について考えている。	18.2%	40.1%	34.8%	7.0%	58.3%	56.9%	1.4%
	3	お子さんと、学校でのできごとや将来のことなどについてよく話をしている。	19.3%	47.6%	29.4%	3.7%	66.8%	72.1%	-5.2%
学 力 向 上	4	お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいる。	19.3%	32.6%	36.4%	11.8%	51.9%	48.0%	3.8%
	5	お子さんは、家庭でも端末(クロームブック)を有効に活用して学習に取り組んでいる。	8.6%	23.5%	51.3%	16.6%	32.1%	36.8%	-4.7%
	6	お子さんは、「授業は楽しい」「よくわかる」等、授業のことを話題にしている。	9.6%	24.6%	47.1%	18.7%	34.2%	31.9%	2.4%
豊 か な 心	7	お子さんは、時と場に応じたあいさつができ、周囲とのコミュニケーションがうまくとれている。	24.6%	57.8%	15.5%	2.1%	82.4%	84.3%	-2.0%
	8	お子さんは、自分をかけがえのない存在と認めながら、自分や家族、友達など、周囲の人を大切に思っている。	34.2%	57.8%	7.0%	1.1%	92.0%	90.7%	1.3%
	9	お子さんは、自主性や自立性が育ってきている。	19.3%	62.6%	15.0%	3.2%	81.8%	74.5%	7.3%
健 康 ・ 体 力	10	お子さんは、食事や睡眠などの望ましい生活習慣が身に付いてきている。	12.3%	52.9%	27.8%	7.0%	65.2%	63.2%	2.0%
	11	お子さんは、部活動に積極的に参加している。(入部していない生徒は無回答)	53.3%	31.1%	6.7%	8.9%	84.4%	89.6%	-5.1%
	12	お子さんは、ルールを守ってスマホやゲーム機、端末(クロームブック)を使用している。	12.8%	46.5%	28.3%	12.3%	59.4%	51.5%	7.9%
そ の 他	13	子育てについて、悩みや不安を感じている。	12.3%	29.9%	45.5%	12.3%	42.2%	36.8%	5.5%
アンケートNo 【考察と改善案】									
1	・アンケート1については85.0%(A、B評価)の保護者が子どもが楽しく学校生活を送っていると考えている反面、15.0%(C、D評価)の保護者は子どもの学校生活に不安を感じている。アンケート3については、保護者の回答が、前期と比較してB評価(7.8%↓)が減少し、A評価(2.6%↑)とC、D(5.2%↑)評価の割合が増加していることから、意識の二極化がみられる。どちらも引き続き学校だよりや学年だより、ブログなどにより、子どもたちの様子を伝えとともに、必要に応じて個別に電話連絡や家庭訪問等を行い、家庭との連携強化に努める。								
4 生12	・82.1%(生徒アンケートA、B評価)の生徒が進んで家庭学習に取り組んでいると回答しているのに対し、保護者の回答は51.9%(A、B評価)である。保護者のA、B評価は前期と比べると3.8%増加したものの、再度、家庭学習の定着が図れるよう、家庭学習の手引き等の周知、活用を検討したい。								
6	・「授業は楽しい」「よくわかる」と家庭で話題となる割合のA、B評価が31.9%から34.2%へと2.4%増加した。特にA評価は4.4%から9.6%へと5.2%の増加がみられる。引き続き、授業における課題設定の工夫やICTの効果的な活用など、生徒の学習意欲を高めるための校内研修の充実や相互授業参観による指導力の向上を図っていく。								
7	・82.4%(A、B評価)の保護者が、自身の子どもはあいさつやコミュニケーションがうまくできていると考えている。その反面、17.6%(C、D評価)の保護者は不十分であると感じているため、あいさつ運動や各学校行事等を通して、生徒のコミュニケーションの基礎となる部分を育んでいきたい。								
9	・自主性や自立性が育っていると感じる保護者が81.8%(A、B評価)と、前期に比べて7.3%増加した。引き続き生徒主体の学校行事や部活動等の運営を通して、自主性や自立性を高めていきたい。								
10・12	・65.2%(A、B評価)の保護者が子どもに望ましい生活習慣が身に付いていると考えている反面、スマホやゲーム機、端末(クロームブック)等のルールを守った使用については、前期に比べ7.9%の改善がみられたものの、依然として40.6%(C、D評価)の保護者がルールを守れていないと感じている。健康タイムなどを活用し、規則正しい生活習慣やスマホ等との上手な付き合い方について、引き続き正しい知識を身に付け実践できるように支援していきたい。								
13	・子育てについて悩みや不安を感じていると回答している保護者の割合が、前期より5.5%増加し42.2%(A、B評価)であった。引き続き、悩みや不安の解消に向けた子育てのヒントとなる情報提供やSCなどの相談窓口の周知に努めていく。								